

【22_043/技術系メルマガ】『ブレイク』か？『反転』か？ これを決めるのも『自分の基準』

〇〇さん

こんにちは、クロガキ(クロ)です。

今週も1週間が終わりましたね。

僕は、今週のトレードの結果2勝1敗5分(圧倒的建値率！笑)

週利回りは8.1%(2月の累計13.3%)でした。

今週は最低限のリワードを確保する前に、建値に返される動きが多かったので

3波目を狙う僕としては、後半にボラが乗ってくれなかった感じですね。

それでもしっかり引き付けて入れれば、建値に逃げて次に備えることができるので

最後はしっかりリワードを取って勝った分で利益が残る、というわけです。

如何に負けを小さく抑えて、勝てる場面でしっかり握るか。

ここでも大事になるのが『一貫性』です。この辺を体感してもらえたらと思います。

さて、連日の 技術系メルマガ になりますが、今回は水平線をテクニカルの主体としている人には

是非とも意識をしておいてほしい話をします。

それは、初学者の方からよく頂く質問の筆頭とも言える内容ではありつつ

テクニカル分析の本質を考える上では非常に重要な問いかけです。

それが、タイトルにも書いたラインに対する『ブレイク』か『反発』かの見究めです。

☐
■ チャート自体は、『答え』を教えてくれません！
└──────────────────┘

まず、前提として理解して頂きたいのが、ラインに対して『ブレイク』『反発』
どちらのプライスアクションかを見究める為の答えは、チャート自体は教えてくれない
ということです。

「じゃあ、誰が答えを知っているんだ？」という話になりますが
その答え(結果)を知っている人は、誰もいません。

極端な話『価格が動いた後の結果』として、ブレイク / 反発だったのかが分かるのであって
前もって“確信ある答え”を教えてくれる人はいないし、それを知る方法もありません。

これは、僕がいつも言っている『相場は常に不確定性で成り立っている』という原則にも由来して
います。

昨日のツイートで、一見同じような図を示しながらラインに対して作られたローソク足の作りによっ
て

僕の中の『基準』に即して、『目線』の決め方が大きく変わって来るよ、という話をしました。

▼そのツイートはコチラ▼

<https://twitter.com/fxrealtradelive/status/1491569121028452356?s=20&t=PCXcMUScVeJfdhujjPttWQ>

このメルマガを読んでいる皆さんには、このツイートの中で場合分けした条件に対し
僕がその後どんな想定をして『目線』を決めるかを、図に示しておきますね。

▼ラインを『ブレイク』した(=終値がラインを割った)場合▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-02-11_02.png

▼ラインに対し価格が『反発』した(=終値がブレイク失敗した)場合▼

https://kuro-gaki.com/muhai_saisoku/others/2022-02-11_03.png

注意をしてほしいのは、繰り返しになりますが

これはあくまで【僕が勝手に作った“基準”に沿って一貫した判断をしているだけである】ということです。

実際に僕がそのように判断したとしても、相場の先の値動きが、思った方向に進んでくれるとは限りません。

(そうなった場合に備えて、エントリー前に損切りや見送りの条件を決めているのです)

チャートが先の値動きを教えてくれることはありません。

ただ、過去のチャートの検証母数(自分の経験量)に応じて『こうなる可能性が高い』

と判断できる『基準』を自分の中に作り、その基準に沿った判断を一貫してやり続ける事。

これがテクニカル分析です。

あくまでも『可能性の高い』方にエッジを掛けて、限定したリスクでエントリーをする。

あとは、利確であろうが、損切りであろうが、その結果を受け容れ

以後も同じ『一貫性』に沿ったエントリーをくり返すのみ。

今回は、『目線』を決める為の基準として、意識するラインが『ブレイク』か『反転』か

を見究めるのは、【自分の中で決めた基準】に従うのが 答え であるという話をさせて貰いました。

トレードは常に、【一貫した自分の中の”決めごと”で成り立っている】ということを忘れずに取り組んでいきましょう。